

式辞（3学期始業式）

おはようございます。今年は平穏な新年を迎えられたことを大変嬉しく思い、何気ない日常を有りがたく感じた正月でした。まだまだ、復旧・復興半ばで不自由がたくさんある中ではありますが、喫緊に命に関わる状態ではなくなっていますので、ホッとしている次第です。

私は年始にあたり、この飯田高校が幸せで楽しく元気な学校であって欲しいと思いました。地震や水害があったからこそ、なおさら、そう思いました。また、そうできると思います。なぜならば、この校舎に集う我々は無機物でもなければ、単なる生命体でもなく、心を通わせることができる人間だからです。一人一人が思いやりを持ち、相手を気遣うことができれば達成可能です。幸せで楽しく元気な飯高が根底にあって、初めて充実した学校生活や進路・部活動の成果に繋がっていきます。

さて、皆さんは今年一年をどのようにしようと思いましたが、1年の計は元旦にありと、昔から言いますように年の初めに計画を立てることは重要です。しっかり計画を立て着実に歩みを進めていって欲しいと思います。まずは、理想的な計画を立て、その中に少しの遊びの部分、つまり、融通を利かせられる部分を加えることができれば申し分ありません。立てた後は実行に邁進するだけです。これも昔からの言い伝えですが、「1月は往く、2月は逃げる、3月は去る」といって、3学期はあっという間に過ぎていきます。まだ、計画を立てていない人は早く行動を起こしましょう。

また、この年末年始に気がかりなことがありました。それは航空機事故がアゼルバイジャンや韓国で起こりましたし、タイでも未遂がありました。こういった重大事故を確率的に表した法則に、ハインリッヒの法則があります。知っている人はいますか？これは「1つの重大事故の背景には29の軽微な事故と300のヒヤリハットがある」というものです。重大事故はいきなりやってくるものではなく、それまでに事故にはならないがヒヤリとしたりハットしたりするようなことが300、ちょっとした接触事故やオーバーランなどが29あるということです。つまり、日頃からミスの多いところに重大事故が起こるといえるのです。皆さんも防げるミスは防いでおくことが重大事故に巻き込まれないための対策となりますので、心がけてください。

最後になりましたが、飯高の精鋭である、3年生の一般試験を受ける皆さん、来週末には共通テストがあります。あと、十日ほどしかありませんが、しっかりラストスパートをかけて、知識をできるだけ頭の中にかち込み、1点を削り出して下さい。受験では最後の足掻きが重要です。その際、大事なことは知識を「正確に」覚えることです。共通テストのようなマーク式のテストは、選択肢の中に必ず答えがあるのですが、それが答えだと分からないように、作られていますので、あやふやな知識では正解は導き出せません。従って、2学期終業式にも言いました、「あやふやな知識はないに等しい」となるのです。加えて、我々人間の頭は、覚えることが苦手な上に、間違った知識を一旦覚えてしまうと、訂正が利きません。ですから、正確に覚えなさいといけません。十日ほどでできることに限りはありますが、1つでも多く、知識を頭の中に、正確に、かち込んで下さい。そして、あと2ヶ月あまりの受験生活を楽しんで下さい。きっと良いことがあります。

以上、皆さんの健康と安全、充実した学校生活、3年生全員の満足のいく進路決定を祈念し、3学期始業式の式辞といたします。

令和7年1月7日

石川県立飯田高等学校長 角 秀明